

社会福祉法人 滋賀県聴覚障害者福祉協会
滋賀県立聴覚障害者センター
びわこみみの里
湖北みみの里
聴導犬訓練事業

2023年度 事業報告

2023(令和5)年度社会福祉法人滋賀県聴覚障害者福祉協会 事業報告

1. 社会福祉法人滋賀県聴覚障害者福祉協会 本部

1. 法人関連会議開催状況

(1) 理事会の開催

- 第1回理事会 2023年5月10日(水) (書面)
- 第2回理事会 2023年6月6日(火) キラリエ草津
- 第3回理事会 2023年6月24日(土) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第4回理事会 2023年9月26日(火) (書面)
- 第5回理事会 2023年12月5日(火) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第6回理事会 2024年3月4日(月) 滋賀県立聴覚障害者センター

(2) 評議員会の開催

- 第1回評議員会 2023年6月24日(土) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第2回評議員会 2024年3月23日(土) 滋賀県立聴覚障害者センター

(3) 経営会議 理事長、常務理事、事務局長、3施設所長、副所長

- 第1回経営会議 2023年5月23日(火) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第2回経営会議 2023年7月25日(火) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第3回経営会議 2023年8月24日(木) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第4回経営会議 2023年10月6日(金) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第5回経営会議 2023年12月14日(木) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第6回経営会議 2024年2月19日(月) 滋賀県立聴覚障害者センター

(4) 人事委員会

- 第1回人事委員会 2023年6月6日(火) キラリエ草津
- 第2回人事委員会 2023年9月7日(木) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第3回人事委員会 2023年11月7日(火) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第4回人事委員会 2023年12月25日(月) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第5回人事委員会 2024年1月30日(火) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第6回人事委員会 2024年2月19日(月) 滋賀県立聴覚障害者センター

(5) 法人事業関連会議

○高齢者資源検討委員会

12月13日、2月14日 滋賀県立聴覚障害者センター

○利用者拡大チーム会議

6月15日、8月9日、12月13日、3月14日 滋賀県立聴覚障害者センター

○職員合同研修、セミナー等委員会

7月4日、8月29日、9月29日、10月24日、11月10日 滋賀県聴覚障害者センター

(6) 運営協議会等

○法人運営協議会／2024年3月14日(木) 滋賀県立聴覚障害者センター

○虐待防止委員会／2024年2月27日(火) 滋賀県立聴覚障害者センター

○身体拘束適正化委員会／2024年2月27日(火) 滋賀県立聴覚障害者センター

(7) 監査

○監事監査 2023年5月18日(木) 滋賀県立聴覚障害者センター

・出席／法人監事、理事長、常務理事、事務局長、事業所長、会計責任者、出納担当

・内容／2022年度事業報告及び決算等

2. 自主事業の実施

(1) 法人季刊誌「BIWAKO33だより」の発行

・第108号 2023年4月10日発行 (500部)

・第109号 2023年7月10日発行 (500部)

・第110号 2023年10月10日発行 (500部)

・第111号 2024年1月10日発行 (500部)

(2) 新任職員研修

6月～8月 新任職員 4名 (非正規職員含む)

(3) 法人職員合同研修

7月30日(日) 滋賀県立聴覚障害者センター (運動の歴史)

(4) 聴覚障害者の社会的自立を考えるセミナー

11月23日(祝)、午後1時～4時 キラリエ草津

テーマ：「情報・コミュニケーションの共生社会をめざして」

内容：特別講演(小出新一氏)／実践報告(施設)／団体報告 (参加者：80人)

3. その他

(1) 社会保険労務士との契約 (労務管理等の相談)

相談：随時

(2) 助成

・ダイترون福祉財団助成 (びわこみみの里／設備助成)

- ・共同募金会助成（法人・センター／高齢（及び児童）聴覚障害者関連 令和3.4年度）

（3）近畿合同機構への参画

- ・7月5日（水）世話人会（大阪）
- ・10月5日（木）経営交流会（大阪）
- ・11月30日（木）情勢学習会（大阪）

（4）全国聴覚言語障害者福祉研究会への協力

12月9日（土）、30日（日）レポート報告など協力

（5）県・各市手話言語条例等への協力

- ・大津市手話施策推進協議会
- ・米原市手話施策推進協議会

2.2023(令和5)年度 滋賀県聴覚障害者センター 事業報告

I. 滋賀県聴覚障害者センター運営・事業

1. 施設の管理運営

滋賀県との委託契約により、滋賀県立聴覚障害者センターの管理運営を行いました。

2. 利用状況

○年間のべ利用者数

5,543 人(聴覚障害者/1,706 人=31% 聴覚障害者以外/3,837 人=69%)

○月平均利用者数

462 人

○来所総累計 人

個人	1,371
団体	4,172

○利用者内訳

団体名	人数	団体名	人数	団体名	人数
ろうあ協会	1,235	関連団体・後援会	376	センター・法人事業関連	2,628
中途失聴難聴者協会	264	要約筆記関係	209	その他	662
手話通訳関係	160	字幕ボランティア他	0		
手話サークル関係	6	合計			5,540

3. 滋賀県立聴覚障害者センターの管理運営事業

(1)聴覚障害者等に対する生活相談の実施

○滋賀県内の聴覚障害者や家族、関係者、機関からの相談に年間 172 件対応しました。

○統計は、相談者の人数(機関などからの相談は1件)です。

生活相談担当1名分(きこえない相談員)です。

1)相談内容別件数

生活介護	労働	教育	医療	福祉情報	施設	法律	コミュニケーション	その他	計
102	15	1	19	3	3	4	44	0	191

※コミュニケーション・手話通訳に関することや人間関係のコミュニケーション等

2)相談受付経路

相談受付経路	本人	家族・関係者	機関	合計
人数	152	9	30	191

○相談内容のうち、生活に関しては、障害福祉サービス事業所(びわこみみの里・湖北みみの里)と連携し、コミュニケーション支援や生活への支援などを継続的に行っています。また新型コロナウイルス感染症の影響で、活動頻度が減少し、ろう高齢者が孤立を防ぐには、家庭訪問を増加しています。法律に関しては、他の専門機関や法律家に協力を得て、解決に向けて支援を行いました。労働に関しては、職場環境やコミュニケーション問題から、話し合いの場を設けて分かち合えるように進めました。教育相談に関しては、聴覚障害児サポート事業との連携を図りながら聾話学校との情報交換を行う必要があると感じています。

○相談経路では、今年度は当事者からの相談が一番多く、市町福祉事務所が抱えているケースについて

と一緒に取り組みました。高齢聴覚障害者等が身近な場所でICT機器(スマートフォン、タブレット等)の使い方を学ぶことができるようなサポートを進めていく必要があります。

○近畿レベルの聴覚障害者相談支援担当者等とのネットワークの構築

「近畿ブロック聴覚障害者相談支援従事者連絡会」の幹事として大阪・京都・兵庫・奈良の聴覚障害者相談支援担当者と一緒に取り組みました。第1回は、2024年10月31日に奈良県社会福祉総合センターで「相談員のジレンマ&支援者のジレンマ」について、参加者同士で話し合いました。(参加者23名)

第2回は、2024年3月6日に兵庫県立聴覚障害者情報センターで「刑事司法における聴覚障害者の支援

について」の講演とグループワークで参加者同士が取り組むべき課題等を議論しました。近畿の参加者は29

名でした。(オンライン12名、会場17名)

○新型コロナウイルスの影響などで非対面型(電話・メール・オンライン)の相談を強化しました。

(2)手話通訳者の派遣

○手話通訳業務担当(2名)

- ・聴覚障害者センター利用者及び関係機関担当者等との意思疎通の支援を実施しました。
- ・手話通訳者養成事業や現任者の研修企画、運営など手話通訳関連業務を担当しました。

(3)情報機器の貸出

○情報機器貸出数

貸出機器	台数
ヒアリングループ	19
オーバーヘッドカメラ(OHC)	10
プロジェクター	57
PC	88
スクリーン	48
補聴器	13
その他(※)	276
合計	511

(※)その他の貸出機器 ループ延長コード・マイク・PC 接続キット、TV・DVD等。

昨年の貸し出し件数 354 件に対し、すべての機器で貸し出しの機会が増えています。

合理的配慮の啓発が機器の利便を知るきっかけになり、貸し出しにつながったもの(ヒアリングループ・補聴器)があります。

(4)その他

①広報誌「センターだより」の発行

○年4回 発行

・第109号…令和5年4月10日発行(1000部)

「新規意思疎通支援者の紹介」他

・第110号…令和5年7月10日発行(1000部)

「国スポ・障スポ 2025 デファスリートを迎えて講演会」他

・第111号…令和5年10月10日発行(1000部)

「手話通訳士・者・奉仕員の養成事業が進行中」他

・第112号…令和6年1月10日発行(1000部)

「障害者週間」他

②その他

- 聴覚障害者情報ネットワーク事業の実施
ホームページ・メールマガジンによる情報発信
- 特定非営利活動法人 全国聴覚障害者情報提供施設協議会の理事および聴覚障害者の情報メディアに関する専門委員会へ委員選出

II. 聴覚障害者コミュニケーション確保対策事業

1. 手話通訳者養成・研修事業

(1)手話通訳者養成事業

講座	開講期間	修了/受講 (人数)	会場
通訳Ⅰ（夜コース）	7月5日(水)～ 3月13日(水)	16/19	米原市役所本庁舎(米原市)
通訳Ⅰ（昼コース）	7月6日(木)～ 3月14日(木)	12/14	滋賀県立聴覚障害者センター
通訳ⅡⅢ(夜コース)	4月18日(火)～ 11月14日(火)	8/8	滋賀県立聴覚障害者センター
通訳ⅡⅢ(昼コース)	4月19日(火)～ 11月15日(水)	8/8	滋賀県立聴覚障害者センター

○講座では手話通訳の理念や活動に関連した知識の学習や、文章・手話の要約やポイントをまとめるなど「翻訳」の力を伸ばす学習、また、場面を想定して通訳等を行うロールプレイの演習、実際場面での通訳実習等を取り入れました。

○講座の運営にあたっては手話通訳者養成講座担当講師会議を開催し、その都度協議を行いながら指導内容の向上に努めました。

(2)手話通訳者全国統一試験

○養成ⅡⅢ課程修了生14名と昨年度までの修了生を含め26名が受験を申し込み、25名が受験しました。合格者は3名で、2023年度の養成ⅡⅢ課程修了者は、2名でした。

(合格率:全国15.15% 滋賀12%)

○滋賀県試験委員会実施要綱に基づき、各団体(滋賀県ろうあ協会、滋賀県手話通訳問題研究会、滋賀県手話通訳士会)から推薦されたメンバーで構成された、滋賀県試験委員会を設置しました。

(3)手話通訳者現任研修

○登録手話通訳者を対象に、手話通訳の「価値・倫理」、「知識」、「技術」、「健康」をテーマについて研鑽を行い資質向上をめざして開催しました。

○健康管理学習は継続的に開催しているもので、手話通訳者58名の参加がありました。2022年度検診結果から、現状報告がありました。疲れをためない、痛みを我慢しない等予防の観点からできる健康管理について学びました。

○手話通訳・要約筆記者の通訳活動に関する共通の理解促進と、現場の悩みや課題などを話し合う場を設け、顔の見える学習会を4か所の地域で行いました。延べ65名の参加がありました。

○手話通訳の倫理・実践研修として、「自らの手話通訳を振り返る」をタイトルに言語行為について学びました。

○人工内耳の正しい知識と最新事情を医師の視点から学習しました。さらに人工内耳装着者より、きこえの

保障と

手話言語の関係について体験を元に講演を聞き手話通訳者としての関わり方(支援)の知識を深めました。

- 手話通訳者の読み取り技術研修を行いました。収録した講義(手話)を教材に、グループワークを通して自らの技術研鑽と、養成講座の講義の読みとり方の共有ができました。

日時／会場	研修テーマ／講師	参加人数
4月22日(土) 9時30分～12時10分 キラリエ草津	「手話通訳者・要約筆記者がいきいきと活動するために」 講師 北原 照代氏(滋賀医科大学特任准教授)	84名
5月30日(火)19時～21時 明日都浜大津(大津市)	2023年度事業説明 意見交換会	15名
6月1日(木)19時～21時 三雲まちづくりセンター(湖南市)		11名
6月7日(水)13時～15時 湖北みみの里(米原市)		16名
6月8日(木)13時～15時 びわこみみの里(守山市)		23名
9月30日(土)10時～12時 近江八幡市総合福祉センター	「人工内耳 しくみと機能 聞こえを改善する医療最前線」 講師:松本 昌宏氏 (滋賀県立総合病院耳鼻いんこう科 副部長) 講師:中井 麻沙子氏 (滋賀県立小児保健医療センター耳鼻咽喉科)	30名
9月30日(土)13時30分～15時30分 近江八幡市総合福祉センター	「人工内耳と手話言語」 講師:高岡 正 (元 東京手話通訳等派遣センター所長)	28名
3月9日(土)10時～12時10分 聴覚障害者センター	「講義の読み取り通訳」 講師:小林 由妃(法人登録講師)	34名

- 手話通訳活動の休止から活動再開をする通訳者をはじめ、登録手話通訳者が自由に参加する手話トレーニングを開催しました。5回の開催に延べ16人の参加がありました。主にろう者の表現から学ぶ学習を、目で聴くテレビや手話ニュースを活用しました。

2. 要約筆記者養成・研修事業

(1) 要約筆記者養成事業

講座	開講期間	修了／受講 (人数)	会場
パソコンコース	6月13日(火)～1月23日(火)	10/12	滋賀県立聴覚障害者センター

- 講義は、オンライン配信を取り入れました。
- 県、市町意思疎通支援事業に対応できる技術をもった要約筆記者の養成を目標に、聴覚障害に関する基礎知識、日本語に関する基礎的知識を学んだうえで、要約筆記事業の位置づけ、要約筆記の目的を理解したのちに要約筆記における表記、意図を伝える要約の実習を重ねました。

(2)要約筆記者認定試験

- (一社)要約筆記者認定協会の主催で実施しました。
- 実施日:2月18日(日) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 受験者数:手書き 1名 パソコン 6名 手書き・パソコン両手法 2名
- 合格者:手書き 1名 パソコン 2名
(全国合格率:手書き 20.4%、パソコン 22.7% 滋賀合格率:手書き 33%、パソコン 25%)

(3)要約筆記者養成スキルアップ講座

- 2023年度までの養成講座修了者を対象に10月～1月で計4回の試験対策講座を開催しました。実技に重点をおき、内容をつかむ書き方を特に強化しました。

(4)要約筆記者現任研修

- 登録要約筆記者を対象に、資質向上をめざして5回開催しました。研修会は「知識」、「健康」をテーマに開催しました。

	日時／会場	手法	研修テーマ／講師	参加人数
①	4月22日(土) 9時30分～12時10分 キラリエ草津	共通	「手話通訳者・要約筆記者がいきいきと活動するために」 講師 北原 照代氏(滋賀医科大学特任准教授)	26名
②	7月8日(土) 10時～12時 聴覚障害者センター	PC	「一人入力の基礎」 講師 森井美幸 全要研登録講師	15名
③	7月22日(土) 10時～12時 聴覚障害者センター	手書き	「場面对応 効果的なノートテイク」 講師 川野 桂子 全要研登録講師	16名
④	9月30日(土) 10時～12時 近江八幡市総合福祉センター	共通	「人工内耳 しくみと機能 聞こえを改善する医療最前線」 講師:松本 昌宏氏 (滋賀県立総合病院耳鼻いんこう科 副部長) 講師:中井 麻沙子氏 (滋賀県立小児保健医療センター耳鼻咽喉科)	11名
⑤	9月30日(土) 13時30分～15時30分 近江八幡市総合福祉センター	共通	「人工内耳と手話言語」 講師:高岡 正 (元 東京手話通訳等派遣センター所長)	7名

- 要約筆記トレーニングを5回開催しました。集まったメンバーで技術の向上を目指しました。

3. 意思疎通支援者(手話通訳者・要約筆記者)派遣事業

(1)手話通訳者派遣事業

- 登録手話通訳者数 139名(内、手話通訳士42名含む)
- 通訳内容の主訴を把握し、依頼者の要望に応じた派遣の実施に努めました。また、手話通訳者の健康にも配慮しました。

○手話通訳の健康対策の一環として頸肩腕検診と講習会を実施しました。

○派遣実施状況

公的 事業	医療	人権	労働	住居	教育 保育	社会 生活	福祉 推進	文化 教養	講座	放送	啓発 講座	合計
件数	9	0	6	0	42	12	205	66	17	0	0	357
人数	9	0	7	0	73	22	482	167	26	0	0	786
	県事業		公的事业業			合計						
派遣件数	62		357			419						
派遣人数	128		786			914						

県 事業	医療	人権	労働	住居	教育 保育	社会 生活	福祉 推進	文化 教養	講座	放送	啓発 講座	合計
件数	0	0	1	0	4	1	45	5	6	0	0	62
人数	0	0	2	0	8	2	94	10	12	0	0	128

○県事業は、県の機関が主催する行事や、県内の聴覚障害者団体が主催または共催する広域な行事に派遣しているものです。滋賀県ろうあ協会が主催する行事や会議、滋賀県中途失聴難聴者協会、盲ろう者友の会など当事者団体の行事や会議にも派遣を行っています。前年と比較して9件の増加がありました。

○公的事业業は、公的な機関や団体が予算化した行事や集会などへ派遣しているものです。

○滋賀県が整備した遠隔手話通訳を、(株)プラスヴォイスのシステムを継続して契約し、実施しました。

(2)要約筆記者派遣事業

○登録要約筆記者数 78名

○通訳内容の主訴を把握し、依頼者の要望に応じた派遣の実施に努めました。また、要約筆記者の健康にも配慮しました。

○要約筆記者の健康対策の一環として頸肩腕検診と講演会を実施しました。

○派遣実施状況

	県事業	公的事业業	合計
派遣件数	51	36	87
派遣人数	159	115	274

県 事業	医療	人権	労働	住居	教育 保育	社会 生活	福祉 推進	文化 教養	講座	放送	啓発 講座	合計
件数	0	0	1	0	0	0	51	0	0	0	0	51
人数	0	0	1	0	0	0	159	0	0	0	0	159

公的 事業	医療	人権	労働	住居	教育 保育	社会 生活	福祉 推進	文化 教養	講座	放送	啓発 講座	合計
件数	0	0	1	0	0	0	35	0	0	0	0	36
人数	0	0	1	0	0	0	114	0	0	0	0	115

○県事業は、県の機関が主催する行事や、県内の聴覚障害者団体が主催または共催する広域な行事に派遣し

ているものです。滋賀県中途失聴難聴者協会、人工内耳友の会など当事者団体の行事や会議にも派遣を行っています。

○公的事業は、公的な機関や団体が予算化した行事や集会などへ派遣しているものです。合理的配慮の義務化に伴い、今後も増加が見込まれます。

4.市町域・都道府県を超える意思疎通支援者(手話通訳者・要約筆記者)派遣調整事業

○意思疎通支援の派遣において、市町域間、都道府県域を超えての派遣が必要な時に、市町からの要請を受けて、派遣先の関係機関(団体等)との派遣調整を行いました。

5. 手話通訳者設置事業

○手話通訳業務担当(1.5名)

・手話通訳者派遣事業のコーディネーター担当としての業務やそれに関連する事務、また、研修会の企画、運営などを担当しました。

・市町との連携では、市においては障害福祉担当者、設置手話通訳者等と連携しながら手話通訳を実施し、町においては、障害福祉担当職員と連携を図りながら、暮らしに関わる助言等を行いました。

6. 聴覚障害者生活訓練事業

(1)日曜教室事業

1)いきいき情報教室の開催

○全体で4回計画しました。内容は、防災関連企画、運動企画、若者や子ども企画を実践・体験型学習で実施しました。

	開催地域	開催日・会場	主な内容	全参加者
①	彦根市	7月12日(水) 13時30分～15時30分 プロシードアリーナ HIKONE	ポッチャをやってみよう! 講師:ポッチャ協会	11名
②	彦根市	11月11日(土) 13時30分～15時30分 プロシードアリーナ HIKONE	避難時の栄養の取り方 講師:管理栄養士 共催:滋賀県聴覚障害者災害地域救援本部	26名
③	草津市	3月10日(日) 13時30分～15時30分 滋賀県立聴覚障害者センター	予測ができない地震に備える!もしものときのアクションプラン 講師:明治安田生命保険相互会社 滋賀支社	19名
④	草津市	3月23日(土) 13時～16時 G-NETしが男女共同参画センター	つながりを広げて楽しく社会生活!～将来の自己像をイメージしてみよう～ 協力:滋賀県ろうあ協会青年部	14名

(2)手話講習事業

○聴覚障害者のための手話学習会を開催しました。

	日時／会場	内容	参加人数
①	2024年3月20日(祝・水) 13時30分～15時30分 キラリエ草津	第19回世界ろう者会議(韓国2023年)とWEDRSA(アジア)代表者会議報告」中西 久美子	13名

○青年講座

- ・昨年と同様に、滋賀県ろうあ協会青年部に協力を頂き、県内の聴覚障害児とその保護者も参加して開催しました。わが子の将来を想う保護者さんからはグループワークでも質問が相次ぎ、ロールモデルとしてろう青年の自覚と自信にもつながる企画となりました。開催内容は上記日曜教室事業欄に記載。

(3)聴力相談事業

○きこえの相談

- ・月1回、土曜日(午前10時～午後4時) 年10回実施 うち出張相談1回:湖南市内(12月)
- ・相談者の地域分布(人数)

草津市	2	大津市	9	愛知郡	1
栗東市	1	湖南市	3	彦根市	1
守山市	2	東近江市	3	甲賀市	4

- ・相談者の年齢構成(人数)

10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	合計
0	0	0	0	2	1	15	5	3	26

○主な相談内容

- ・相談人数は26人でした。初めて相談される方ばかりでした。70才以上の方が88%で、加齢による聞こえの不安を抱える方、補聴器を検討される方が多くありました。
- ・言語聴覚士は、音声認識アプリを使用し、音声と文字でいねいに対応します。日常生活で使えるIT機器や認定補聴器専門店の利用を紹介しています。
- ・相談内容の主なものは、「電話の声やテレビの音が聞きとりにくい」、「補聴器をつけてもよく聞こえない」など聞こえについての不安や悩み、「家族との間でのコミュニケーションがとりにくい困っている」などの相談が多く見受けられました。
- ・聞こえに関する相談では、補聴器の購入や使い方、身体障害者手帳取得に関する助言などを行いました。

7. 聴覚障害児及び保護者サポート事業

- 全体で5回開催しました。
- 保護者学習会(のびのびサロン)では、デファスリートの講演を聞き、成人聴覚障害者の活躍を知る機会となりました。
- 夏休み企画では、手話講座を開催しました。聴覚障害があり3児の父親でもある講師が、家庭で使える手話を中心に指導をしました。
- クリスマス企画は、滋賀県立聾話学校と共催し、手話で絵本を楽しみました。

〔開催内容〕場所：聴覚障害者センター

	日 程	内 容	参加者
①	6月3日(土) 10時～12時 びわこみみの里	デフアスリートを応援しよう 親子交流会	全体9名 (1家族)
②	7月22日(土) 12時～15時30分 キラリエ草津	夏休み企画 親子手話教室	全体8名 (1家族)
③	10月14日(土) 9時～12時 プロシードアリーナ HIKONE	デフキッズのスポーツ体験 バasketボール	全体25名 (8家族)
④	12月20日(水) 10時～12時 滋賀県立聾話学校	手話で絵本を楽しむクリスマス	全体22名 (4家族)
⑤	1月20日(土) 10時～12時 聴覚障害者センター	保護者学習会 「(きこえない・きこえにくい子どもたちの)子育ての経験をきかせて」	全体18名 (9家族)

8. 手話通訳士養成講座開催事業

○手話通訳技能認定試験(手話通訳士試験)の2023年度受験予定者を対象に、試験対策を実施しました。

滋賀県手話通訳士会の協力を得て講師体制を整え、個別指導を強化するなど講座の充実に努めました。

合格者はありませんでした。

講座	開催日時	受講人数	会 場
手話通訳士養成講座	5月27日(土)	8名	滋賀県立聴覚障害者センター
	7月8日(土)		
	9月2日(土)		
	11月11日(土)		
	1月27日(土)		
	3月9日(土)		

※手話通訳技能認定試験(手話通訳士試験)実施日程 学科試験 7/23(日)実技試験 10月1日(日)

9. 字幕入りビデオ制作・貸出し事業

①第79回国スポ・第24回障スポ大会滋賀県開催準備委員会受託事業に係る手話・要約筆記ボランティア養

成研修テキストに必要な動画撮影・編集に協力しました。(手話単語 179語)

②ビデオライブラリーの貸出

- ビデオ貸出件数 1件 3本(昨年度5件10本)
- 登録者数 聴覚障害者・団体登録者(497名)一般・団体登録者(563名)
- 手話通訳者養成事業と連携し、教材制作や収録を行いました。
- ③聴覚障害者情報提供施設協議会 聴覚障害者向けソフト制作担当職員研修会(オンライン研修)
主催:全国聴覚障害者情報提供施設協議会 場所:和歌山県

10. 映像配信事業

- ①動画配信/36コンテンツ【YouTubeで配信】 再生回数/1,242回
ホームページからの情報発信 投稿61件
- ②情報提供施設協議会第4ブロック映像制作研修(静岡) 参加2名

11. 県民向け手話講座開催事業

県民に対し、広く手話言語を普及するため、手話の初心者向け講座を2回開催しました。
運営協力を子育てサークル「ママサポートくさつ」に依頼し、ラインやインスタを使ってデザイン性のあるWEBチラシも効果的な啓発につながりました。

・2024年2月16日(金)10:00~11:30 キラリエ草津 /参加:20人(大人13人・子ども7人)

・2024年3月12日(火)10:00~11:30 能登川コミュニティセンター/参加14人(大人8人・子ども6人)

Ⅲ. 市町委託事業

1. 手話通訳者・要約筆記者派遣事業

(1) 手話通訳者派遣事業

○市町事業は、市町から委託を受けた派遣です。直営の派遣事業を行う市は増えていますが(11市)、委託による依頼の利用はあります。独自の手話通訳者設置および派遣制度を持たない6町については、委託契約に基づく派遣依頼が継続しています。

遠隔手話通訳は、6市2町と契約を行い、複数回の利用がありました。(彦根市・栗東市・甲賀市・湖南市・

東近江市・米原市・日野町・竜王町)

	医療	人権	労働	住居	教育 保育	社会 生活	福祉 推進	文化 教養	講座	放送	啓発 講座	合計
件数	98	0	6	0	14	52	107	5	11	0	0	293
人数	98	0	6	0	21	70	173	9	22	0	0	399

(2) 要約筆記者派遣事業

○市町事業は、市町から委託を受けた派遣です。

直営の派遣事業がない市町が大半のため、委託による依頼ほとんどです。

手書きノートテイクの利用が広がらない傾向にあります。難聴者向けの啓発が必要です。

	医療	教育 保育	社会 生活	福祉 推進	合計
件数	10	1	8	65	84
人数	9	2	18	208	237

2. 市町手話奉仕員養成事業に係る講師派遣（受託事業）

市町からの要請に応え講師の派遣を行いました。派遣にあたっては、市町と連携を密にとると共に、県事業(手話通訳者養成事業)との連携を図り、手話通訳者の拡大に繋がるよう取り組みました。

【講師を派遣した手話講座の実施日程】

○高島市手話講座(手話奉仕員養成講座入門編)

[期間]2023年6月8日～2023年11月2日 毎週木曜日 13時30分～15時30分

○米原市手話講座(手話奉仕員養成講座入門編)

[期間]2023年6月6日～2023年11月21日 毎週火曜日 19時00分～21時00分

○彦根市手話講座(手話奉仕員養成講座入門編)4町合同

[期間]2023年6月22日～2023年11月6日 毎週木曜日 10時00分～12時00分

○彦根市手話講座(手話奉仕員養成講座入門編)4町合同

[期間]2023年6月22日～2023年11月6日 毎週木曜日 19時00分～21時00分

○湖南省手話講座(手話奉仕員養成講座入門編)

[期間]2023年6月13日～2023年10月31日 毎週火曜日 19時00分～21時00分

○栗東市手話講座(手話奉仕員養成講座入門編)

[期間]2023年6月7日～2023年11月22日 毎週水曜日 19時00分～21時00分

○米原市手話講座(手話奉仕員養成講座基礎編)

[期間]2023年5月24日～2023年11月1日 毎週水曜日 10時00分～12時00分

○東近江市・日野町・竜王町手話講座(手話奉仕員養成講座基礎編)

[期間]2023年5月30日～2023年11月14日 毎週火曜日 19時00分～21時00分

○近江八幡市手話講座(手話奉仕員養成講座基礎編)

[期間]2023年6月8日～2023年11月16日 毎週木曜日 19時00分～21時00分

○守山市手話講座(手話奉仕員養成講座基礎編)

[期間]2023年6月15日～2022年12月7日 毎週木曜日 19時00分～21時00分

○甲賀市手話講座(手話奉仕員養成講座基礎編)

[期間]2023年6月6日～2023年11月14日 毎週火曜日 19時00分～21時00分

○草津市手話講座(手話奉仕員養成講座基礎編)

[期間]2023年6月2日～2023年11月24日 毎週金曜日 19時00分～21時00分

3. 登録手話通訳者・要約筆記者の健康管理事業

①健康管理委員会の設置

登録活動者の健康管理や予防対策を目的とした同事業が円滑に行われるよう、関係団体の委員で構成する「健康管理委員会」を設置し、検診の運営及び検診結果や課題に対する検討などを行いました。

②頸肩腕検診の実施

登録手話通訳者122名、要約筆記者59名(活動休止者を除く全員)を対象に一次検診(スクリーニング)、二次検診(特殊検診)を実施しました。一次検診の問診票の回収率は、手話通訳者が93%(昨96%)、要約筆記者が90%(同89%)でした。二次検診は、草津市内に会場を設け2日間実施しました。昨年度に引き続き、大阪社会医学研究所(検診機関)による問診(血圧測定、身長、体重測定含む)医師による診察、関係団体の協力による「おしゃべりサロン」の設置を行いました。

[二次検診の結果]

(人)

	A判定	B1判定	B2判定	B3判定	C判定
手話通訳者	3	30	16	4	0
要約筆記者	0	5	4	0	0

- ② 検診結果を生かす取り組み
- ③ 検診の結果を踏まえた派遣業務を行うとともに、派遣事業の直営市に対しては、重複登録者(県と市)の健康管理に生かすため、情報の共有化を図りました。
- ④ 衛生教育の実施
検診結果および登録者の健康の取組みや課題等を関係者へ広く啓発するため、聴覚障害者関係団体や行政など幅広く呼び掛け、健康管理講習会を開催しました。

IV. 自主事業

1. 聴覚障害者理解のための啓発講座

依頼団体(機関)と実施数及び受講対象者

依頼機関	件数
学校	2
企業	1

対象者	延べ人数
学生・教職員	203
社員	20

【単発】

依頼機関	件数
企業	2
行政	7

対象者	延べ人数
社員	214
市町民	601

【連続】

- 湖南広域行政組合消防職員に対する研修は毎年実施されており、聴覚障害者の理解を広めるとともに、手話だけでなく現場活動に必要なコミュニケーション方法を習得するため模擬実習を取り入れた指導を行いました。
- 聴覚障害者の顧客や利用者を想定した聴覚障害者のコミュニケーションや緊急時の連絡手段を学ぶ企業などのニーズがありました。自動車教習所職員の学習は、継続して実施しています。
- 各市の手話通訳者人材育成のための各市フォローアップやステップアップ講座の実施を協力しました。
- 登録講師現任研修を4回実施しました(4/22 8/26 12/16 3/20)参加は延べ76人
指導方法の振り返りや共有をグループワークを通じて深め合うことができました。

2. 手話通訳者・要約筆記者派遣事業

(1) 手話通訳者派遣事業

- 労働分野は、企業などの研修への派遣が主です。
- 放送分野では、県広報番組に協力しました。また手話通訳者映像の配信を含めた依頼も増加しています。

	医療	人権	労働	住居	教育 保育	社会 生活	福祉 推進	文化 教養	講座	放送	啓発 講座	合計
件数	0	0	132	0	0	0	2	0	48	13	0	195
人数	0	0	294	0	0	0	4	0	58	26	0	382

(2) 要約筆記者派遣事業

- 自主事業の派遣件数は、労働場面で11件48人でした。市町村職員の研修に、難聴の職員がPC要約筆記の利用があります。

3. 「手話タイム・プラスワン」(県広報番組)協力事業

○びわ湖放送において県政ニュースを手話と字幕で伝える番組「手話タイム・プラスワン」(年間 20 回)への制作協力を行いました。

- ① 手話キャスター、聴覚障害者アシスタント、きこえるアシスタントを、各回 1 名ずつ派遣しました。
- ② センターの事業案内のほか、「きこえの相談」の周知や聴覚障害への理解に役立つ時事情報などの周知に努めました。

令和5年度収録スケジュール

4/26、5/10、5/24、6/7、6/21、7/5、8/2、8/23、9/6、9/20、10/4、10/18、11/1、11/15、11/29、12/13、1/17、1/31、2/21、3/13

※全 20 回 時間:9 時～12 時

4. 聴覚障害者用ビデオ制作事業

聴覚障害者が様々な情報にアクセスできるよう、行政機関や団体などからの依頼に応じて手話や字幕挿入など、聴覚障害者のための映像制作を行っています。

5. 聴覚障害者向けITサポート事業

この事業は滋賀県より事業の委託を受け、滋賀県立聴覚障害者センターにおいて月曜～金曜 9 時 30 分～18 時 00 分、主に県内の聴覚障害者を対象に IT に関する支援をしています。随時相談を実施しました。

[相談件数]

相談人数	60	相談件数	76
------	----	------	----

[相談内容と件数]

電話リレーサービス	38	利用者登録・ホーム画面の登録方法・支払い方法など
スマートフォン操作	12	アップデート、迷惑メール設定、ネットショッピングの方法など
SNS	2	設定の仕方、投稿方法など
PC 操作	19	ZOOM やGooglemeet などオンライン会議の設定 ハガキソフトの操作方法、パワーポイント・エクセルの操作
その他	5	ビデオカメラ操作、タブレット購入、ETCトラブル、ネット回線の変更、プロジェクターの使い方
計	76	

- ・今年度は電話リレーサービスに関する相談が多かった。
- ・日本財団電話リレーサービス主催、滋賀県立聴覚障害者センターは協力の形で電話リレーサービスに関する学習会を開催しました。

6. 大津市聴覚障害者相談員設置事業

この事業は大津市より委託を受け、大津市在住の聴覚に障害のある方々の地域生活支援を行います。

[年間活動件数]

	訪問	来所相談	同行	メール・FAX	関係機関	出張	交流	合計
人数	139	9	0	95	236	45	79	603
回数	37	5	0	139	164	8	8	361

[個別支援状況]

	福祉サービス利用	障害や病状理解	健康・医療	不安解消情緒安定	保育・教育	家族・人間関係	家計・経済	生活技術	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	福祉推進・啓発	合計
人数	227	128	26	2	0	3	0	30	31	84	0	72	603
回数	161	72	36	2	0	3	0	34	37	12	0	4	361

[開催企画]

①「おおつ・みみサロン」（目的:生活情報の講座と交流）

・今年度は計7回開催しました。

	日程	会場	内容	参加人数
第1回	5月25日(木) 10時～12時	ふれあいプラザ ザ大津	「おしゃべり会」	ろう者7名 難聴者2名
第2回	9月21日(木) 10時～12時	ふれあいプラザ ザ大津	「節電・省エネについて知ろう～昔の暮らしをふりかえって～」 講師:滋賀県地球温暖化防止活動推進員	ろう者8名 難聴者1名
第3回	10月26日(木) 10時～12時	ふれあいプラザ ザ大津	「昔の手話と今の手話と新しい手話～昔の手話を振り返って新しい手話を学ぼう～」	ろう者6名
第4回	11月16日(木) 10時～12時	ふれあいプラザ ザ大津	「介護保険制度とは?～介護サービスについて学ぼう～」 講師:大津市役所健康保険部介護福祉課	ろう者6名 難聴者2名
第5回	12月7日(木) 10時～12時	坂本コミュニティセンター	「おにぎりと味噌汁でおしゃべり会」	ろう者6名
第6回	1月10日(水) 10時～12時	膳所公民館	「おにぎりと味噌汁でおしゃべり会」	ろう者4名
第7回	2月8日(水)	ふれあいプラザ ザ大津	「脳と手を活かしてやってみよう～折り紙の手順を学び、一緒に作ろう～」 講師:安岡まち子氏	ろう者5名

[出張相談]（居住地地域の公民館で行う聞こえの個別相談）

① 大津市聞こえの出張相談（大津市内公民館や施設で実施）

- ・堅田・日吉台・南郷公民館・大津市科学館で一人45分の個別相談を行いました。
- ・日程:5/19、6/16、7/14、9/15、10/11、11/9、12/8
- ・相談者 計18名

② 個別相談 電話での問い合わせや来所者による新規相談 7件

- ・高齢による聞こえづらさ、補聴器に関わる相談が増加している傾向がありました。

7. 手話・要約筆記ボランティア養成事業

（第79回国スポ・第24回障スポ大会滋賀県開催準備委員会受託事業）

1. 養成連絡会議の開催(全体会、手話部会・要約筆記合同部会)

第7回手話・要約筆記ボランティア養成連絡会議全体会

*4月～10月の活動報告を書面で送付	
第8回手話・要約筆記ボランティア養成連絡会議全体会	
日時	日時:令和6年1月17日(水)14:00～16:00
場所	滋賀県立聴覚障害者センター 研修室
出欠	会場参加 滋賀県ろうあ協会他7機関13人 オンライン参加 滋賀県社会福祉協議会他2機関3人 欠席1機関

手話部会および要約筆記部会の開催(全4回)	
第8回	6月27日(火)14:00～16:00 聴覚障害者センター ボランティアリーダー(候補)の選出 鹿児島リハーサル大会の視察報告
第9回	10月4日(水)10:00～12:00 聴覚障害者センター ボランティア募集について 応募啓発について
第10回	12月20日(水)14:00～16:00 聴覚障害者センター ボランティアリーダー研修について 鹿児島大会視察報告
第11回	3月30日(土)12:30～13:30 聴覚障害者センター 佐賀リハーサル大会視察について ボランティアリーダー配置について

2. 啓発活動の実施

国スポ・障スポ啓発イベントとボランティア募集PR	
日時	2023年6月3日(土) 10時～
会場	びわこみみの里 守山市洲本町
内容	森本真敏選手(竜王町出身、デフリンピック金メダリスト)特別講演
参加	60人

他1回

3. リーダー研修会、指導者研修会の開催

県内の障害者スポーツ大会を見学し、障害者スポーツを理解する

先催県(鹿児島県)ボランティア養成統括 原園さんを迎えて、リーダーの在り方を学習。参加27人。

4. 先催県視察

○2023年5月20日(土)～22日(月) 特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」リハーサル大会視察 鹿児島県 白波スタジアム 他 参加2名

○2023年10月16日(月)～17日(火) 特別国民体育大会視察 鹿児島県白波スタジアム 参加2名

○2023年10月27日(木)～29日(日) 特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」本大会視察 鹿児島県 白波スタジアム 他 参加3名

8 令和 5 年度手話言語普及事業

○手話言語普及事業として、「ヒゲの校長」映画上映会を開催しました。ミニ手話教室を通じて聴覚障害の基礎と手話を知り、映画を通じて、聴覚障害者教育の歴史を知る機会になりました。

日時:2023年12月23日(土)12:30~16:00/2024年2月23日(祝・金)12:30~16:00

会場:みずほ文化センター(12/23) 栗東芸術文化会館さくら(2/23)

参加:12月23日(土)107人 2月23日(祝・金)223人

内容:ミニ手話教室(30分)・「ヒゲの校長」上映会(100分)

9 令和 5 年度電話リレーサービス普及啓発員事業

一般財団法人日本財団練和リレーサービスが行う、電話リレーサービス普及啓発活動に関する業務を受託し、行いました。

- ① 登録相談窓口の設置 年間利用者数 41人
- ② イベント啓発ブース設置 (6/3 10/1)
- ③ 地域講習会・利用登録会の開催 12月18日 滋賀県立聴覚障害者センター 参加8人
- ④ 受託事業所意見交換会 (9/5 11/29 1/10 3/26)
- ⑤ その他 広報誌等の掲載 随時

3. 2023(令和5)年度 びわこみみの里 事業報告

1. 障害福祉サービス事業実施状況(定員 30 人中現員 31 名)

- ①自立訓練(生活訓練)事業 定員 6名 現員4名
・個別支援(軽作業訓練等)
- ②就労移行支援事業(※休止中)定員 6名
・個別支援(就労支援)・SST学習適宜実施
・OB・OG スマイル会支援・就労アセスメント
- ③就労継続支援B型事業 定員18名 現員27名
・個別支援(就労事業実施)
- ④就労定着支援事業 現員2名
・3年間1ヵ月毎訪問、随時相談支援
- ⑤送迎サービス(12名、他は自力通所・家族送迎)
 - 1. 草津コース 約60分(2名)
 - 2. 野洲コース 約40分(12名)
 - 3. 個別送迎 不定期1コース(1名)
- ⑥施設外支援・就労
・Y氏畑作業(現在休止中)
- ⑦その他適宜関連機関とのケース会議等多数あり

2. 入退所等

	入所	退所
生活訓練	2名	0名
就労移行支援	0名	0名
就労継続B型	7名	2名 (就職、個人都合など)
就労定着支援	1名	0名
合計	10名	2名

* 入所見学

- ・5/16 栗東市 女性
- ・5/16 栗東市→女性 →10月入所
- ・8/21,10/20 大津市 男性 →11月入所
- ・9/ 6、12 守山市 女性 →11月入所
- ・11/24 草津市 男性
- ・11/24 草津市 女性 →2月実習→入所
- ・12/5 守山市 女性 →1月実習→入所
- ・2/22 大津市 男性 →実習→入所

3. 就労事業実施状況

- ①菓子製造
日々の菓子製造。チラシ配布で注文受け、出張販売主体
- ②縫製
独自手作り・縫製品を製造し、ショップ・イベント等で販売
受注縫製製造販売
就労事業振興センター共同事業「steed」バッグ(競走馬ゼッケン帆布)の製造販売、いきいき百歳体操ベルト、企業の作業服の名札付け・裾直し作業、福井セルブからの依頼でエコバック製作等を定期的に受託
- ③軽作業
高畑産業、ヒロノ技研、山豊テグス、守山玩具、JPF、カネキタ、(株)清原等事業所からの下請け作業、廃棄ケーブル被覆除去作業、空き缶リサイクル TCC Japan、安井商店、轟話学校 空き缶回収
(1
か月に1度:定例化)、1月～UVレジンでの自主製作開始。(びわこブローチ、アイラブユーブローチ)
- ④施設外就労 Y氏畑作業(現在休止中)

⑤就労会計 工賃向上に関する取り組み

菓子製造・販売では、県内各地の聴覚障害者団体や手話サークル、聾話学校、野洲養護学校、みみの里のある守山市にある自治会、戦没者祈念等の行事で注文をいただいています。

また、地道に手話サークル等で販売活動をしてきたことで、少しずつみなさまの間に定着し、評価されるようになってきており、リピート率も高くなってきています。加えて、コープ滋賀様主催のイベント「びわ湖清掃ウォーク 2023」での出店要請をいただいたり、聴覚障害者センター見学者の方に対する販売など、新たな展開もありました。

昨年同様に12月はクリスマス企画として、ケーキとお菓子の詰め合わせの限定販売や、滋賀県主催のネット販売「びわ湖まん福市場」への出店も行いました。

縫製作業では、これまでの自主製品の製作・販売を進めながら、企業のユニフォームの名札付け裾直し作業や、守山市地域包括支援センターからの相談をきっかけに作成した「いきいき百歳体操ベルト」、そして企業様の不要衣服のリサイクルエコバックの縫製など、地域の方とのタイアップ商品にも取り組むことができました。「いきいき百歳体操ベルト」は、コロナ禍の後で地域での体操教室も復活しており、問い合わせ・注文も増えつつあります。10月には steed のバッグが昨年から栗東市に続き守山市のふるさと納税の返礼品に選ばれたこともあり、9 月には在庫がなくなるような状況です。

軽作業では、昨年守山市にある(株)清原様から「ふくさ」の箱折作業をいただいています。安定した受注が続いており、軽作業の中心の仕事になっています。5 月に開かれた広島サミットで、各国首脳への贈答品に清原様のふくさが採用されました。びわこみみの里が作業を通して世界につながったのではないかと考えるうれしいニュースでした。

また、工賃アップを狙って UV レジンによる自主製品である、アイラブユーブローチとびわこストラップを昨年開発しました。イベントや出店販売で好評をいただいております。少しずつ認知度が高まってきました。今年、研究大会の記念品として採用いただいたほか、購入いただいた方が知人に配りたいとの大量注文をいただきました。製作にあたっては、野洲市の手話講座受講生のボランティア「みみのわ」さんにご協力いただき、押し花を入れた「びわこストラップ」など様々なアイデアをいただいています。

さらに、steed の限定トートバッグと、びわこみみの里のお菓子のセット限定 30 個は、発売開始より 30 分で完売となりました。

このようなみなさまのご理解・ご協力により、販売目標の 630 万円を達成・超過することができました。その結果、4 月より数年ぶりの工賃アップと 5 月には決算賞与の支給を予定しています。

4. 会議・研修等

①全体職員会議 2.5時間位 (別途「運営」「支援・作業」「販促」会議各月1回1時間開催)

4/24,5/22,6/26,7/24,8/28,9/25,10/23,11/27,12/18,1/29,2/26,3/25

*8/28 全重複研レポート検討 湖北みみの里との合同会議

②外部会議 ※新型コロナ 5 類移行後、対面での会議が復活した。

・湖南地域障害者サービス調整会議(田中)6/23,11/24

・湖南地域障害者サービス調整会議進路部会(田中) 6/23,10/6

・守山市障害者自立支援協議会定例会議(小野)5/23,7/25,9/26,11/28,1/23,3/26

・守山市障害者自立支援協議会相談支援部会(田中)4/22,6/28,8/23,10/25,12/27,2/28

・守山市障害者通所施設連絡協議会(小野)5/12,7/14,9/8,11/10,1/12,3/8

・法人職員研修(セミナー)チーム(田中)5/23,7/4,8/29,9/29,10/24,11/10,12/13

・法人利用者拡大チーム(小野)6/15,8/9,12/13,3/14

・法人高齢者事業推進チーム(林)7/4,9/13

・法人高齢者資源検討委員会(林)12/13

・法人会計担当者会議(林)4/27,5/18,6/16,8/22,10/19,11/21

・他、きょうされん理事会などに参加

③職員研修

・7/30 法人職員合同研修(聴覚障害者センター)

・10/18,11/21,12/26 相談支援専門員現任研修(田中)

・11/23 法人聴覚障害者の社会的自立を考えるセミナー(キラリエ草津)

・11/30 近畿合同情勢学習会 大阪府立福祉情報コミュニケーションセンター

・12/9, 10 第 27 回全国聴覚言語障害者福祉研究交流集会: 埼玉(山口)

全国ろう重複障害者施設研究会

※他、職員会議中に虐待防止のセルフチェック、健康ストレスチェック、ハラスメント等の研修を実施
○スタッフ学習

- ・5/24 お出かけ企画(大津プリンスホテル:食事会)
- ・11/15 お出かけ企画(イオンモール草津:まん福マルシェ)
- ・11/8 スタッフ見学研修会(近江八幡:NO-M、ラコリーナ)
- ・3/7 スタッフ学習会(スマホ・SNSについて)、湖北みみの里との交流会

5. 出店・イベント・レク等

- ・6/13 ぽんぽこまつり2023
 - ・7/2 「ヒゲの校長」上映会 栗東さきら
 - ・9/1～ びまん福市場開始～2月まで
 - ・9/2 コープ滋賀主催のイベント「びわ湖清掃ウォーク 2023」
 - ・10/1 手話ふれあいフェスティバル
 - ・10/28 湖北みみの里まつり
 - ・11/10 風マルシェ
 - ・11/14・15、1/20・21 農福連携マルシェ(イオンモール草津)
 - ・11/16・24 センター見学者への販売
 - ・12/23 「ヒゲの校長」彦根上映会 みずほ文化センター(彦根市田原町)
 - ・1/20,21 イオンモール草津 まん福マルシェ販売(委託)
 - ・1/31 きょうされん・知的障害者施設長会議(草津エステピアホテル)
 - ・2/11 法人後援会上映会 栗東さきら
 - ・2/23 「ヒゲの校長」栗東上映会 栗東さきら
- ※他、各地域の手話・要約筆記サークルなど

6. 体験実習・職場実習受入等(入所予定者の事前実習は除く)

- ・6/6～8 野洲養護高3生 就業体験実習
- ・6/4,7/11 滋賀医科大学学生 フィールドワーク受け入れ
- ・7/18～20 野洲養護高2生 就労アセスメント実習
- ・7/31～8/2 野洲養護高2生 就労アセスメント実習
- ・8/4 野洲養護高1生 就労体験実習
- ・12/4～6 野洲養護高2生 就労アセスメント実習

7. 施設見学

- ・5/16 長岡京市民児協
- ・7/12 野洲市「ともしび」サークル
- ・7/13 枚方市民児協
- ・7/31 水口町民児協
- ・8/31 湖南市菩提寺民生委員
- ・9/21 甲賀市甲南町民児協
- ・9/26 名古屋市中村区民児協
- ・10/12 北名古屋市西地区民児協
- ・10/23 川西市南民児協
- ・10/24 南あわじ市民児協
- ・10/26 野洲市民児協
- ・10/30 名古屋市中村区柳学区民児協
- ・11/14 大阪府島本町民児協
甲賀市ボランティア連絡協議会
- ・1/29 大津市社会福祉協議会
- ・2/6 枚方市氷室町コミュニティ協議会
- ・2/29 愛知県中島学区
- ・3/5 東近江市湖東地区民児協
- ・3/14 宇治市南部学区福祉推進協議会

・3/15 手話サークルびわこ(草津)

その他個人数名見学などあり

8. ボランティアの支援・交流会等

- ・自主活動(縫製作り・花壇畑育成等)随時みみの里内にて
- ・縫製作業ボランティア 週1~2回 数名
- ・聴導犬ボランティア
- ・steed ボランティア
- ・野洲市手話講座受講生

9. 地域交流

- ・4/16 水保町春の美化作業:排水路清掃(田中)
- ・8/20 水保町秋の美化作業:排水路清掃(山口)

10. 施設の会議利用等

- ・5/26 野洲市手話講座修了生ボランティア「みみのわ」手話学習会 10:30~
- ・6/ 8 センター手話研修会 PM
- ・7/21 きょうされん滋賀支部事務局 第47回全国大会(滋賀県開催)の協力について
- ・1/16 NPO 法人アンビシャス

*その他、モニタリング、ケース会議等多数

11. その他

- ・4/27 スタッフとの懇談会(第1回)
- ・5/26 県専任手話通訳者会議(事業説明、利用者拡大の情報提供依頼)
- ・8/28 火災避難訓練(第1回目)
- ・9/5 ダイトロン福祉財団助成金贈呈式 *蛍光灯からLED照明への改修の補助
- ・9/11 LED照明工事
- ・9/22 きょうされん学習会
- ・8/27 比留田自治会聴導犬啓発
- ・9/14 スタッフとの懇談会(第2回)アンケート実施
- ・10/4 守山市北消防署立ち入り検査(問題なし)
- ・10/5 歯科検診
Steed ゼッケン受け取り(栗東トレーニングセンター)
- ・10/10・11 頸肩腕特殊検診
- ・10/12 物部小学校 福祉学習 岡田・板垣前年度に引き続き対応
- ・10/20 定期消防設備点検
- ・10/25 速野学区奉仕活動(除草)
- ・11/5 水保町自治会館での人権学習:聴導犬の啓発
- ・3/14 きょうされん他施設研修受け入れ(あゆみ作業所より依頼)

障害者相談支援事業

1. 特定相談支援事業「ふくみみ」
対象9名支援計画作成およびモニタリング実施。
2. 就労よろず相談事業(1件あり)
11/22 彦根職業安定所障害者担当より相談。
窓口に来られている聴覚障害者の方のことでの相談。以前の事業所でも聞こえないために指示内容が分からず行き違いになったことがあったため相談に来られたとのこと。障害者の雇用環境を理解してもらうために、安定所から、新規雇用の事業所に対し、合理的配慮をしていただくように積極的に働きかけては如何かとアドバイスを行った。

4. 2023(令和5)年度 湖北みみの里 事業報告

<施設経営の経営方針>

- 1 すべての利用者にとって、元気で楽しく笑顔いっぱいの生活が送れるようにします。
- 2 すべての利用者が得意とする労働を通じて輝けるようにします。
- 3 手話、筆記その他のコミュニケーション環境を保障し、情報提供機能を高め、すべての利用者にとって語らい、情報を共有でき、学びの場となるようにします。
- 4 手話や手話で様々な情報・知識を学び、それらを地域に発信していけるようにします。

<スタッフ(利用者)の状況>(2023年3月31日現在)

- ・登録者—21名(内 視覚障害を併せ持つ人3名 知的障害を併せ持つ人2名)

コロナ感染予防のため、N女史休みの状況

- ・1日平均利用者数—15.1名
- ・年齢 22歳～89歳 平均年齢 63.4歳
- ・米原市在住7名 ・長浜市10名 ・彦根市在住4名(内1名休み)
- ・男性10名 ・女11名

*現在、新型コロナウイルス感染症防止対策により、前年度に引き続き、1日勤務短縮(10:00～15:00)

昼食・時間差交替→継続中 多目的室、食堂にて飛沫防止パネル設置 現在のところ、クラスター発生がない。

<職員の状況>(2023年3月31日現在)

【職員体制】

- ・管理者 1名
- ・サービス管理責任者 1名
- ・生活支援員 2名(常勤 1名 週3日勤務 1名)
- ・職業指導員 2名(常勤 1名 月14日勤務 1名)
- ・目標工賃達成指導員 2名(月12日勤務 1名 週4日勤務 1名)

【健康状況】

- ・健康診断→全員受診済
- ・頸肩腕診断→全員受診済
- ・インフルエンザ予防接種→1人除いて、全員接種済
- ・新型コロナワクチン接種→全員済 3回目→5名接種済

<具体的な取り組み>

1. 障害福祉サービス事業実施状況

(1) 就労継続支援 B 型事業 定員 20 名 現員 21 名(2023 年 3 月 31 日現在)

① 班作業 木工、縫製、もぐさ、リサイクル、農作業、生パスタ製麺、受注作業

② 送迎サービス 2コースー長浜コース、米原コース(週2回)

③ おたのしみ企画(3 か月ごとに1回 水曜日)いきいき教室企画(年4回 水曜日)

③ 個別相談→中間モニタリング会議 2022 年 9 月 30 日 年間モニタリング会議 2023 年 3 月 31

⑤ 避難訓練→1 回目 2022 年 10 月 21 日(金)「避難訓練、通報訓練」2 回目 2023 年 3 月 17 日(金)「避難訓練、通報訓練」

※障害福祉サービス報酬費 2022 年 4 月～3 月度 29,459,411 円 2021 年 4 月～3 月度 28,691,965 円

2. 就労支援事業実施状況

(1) 就労支援会計

① 収支状況(収益)

	2022 年度 収入	2022 年 度 支出	2022 年度 収益	2021 年度 収益	差 額
合計	3,117,020	3,294,483	-177,463	2,726,384	

※2022 年度の収支差額は、-177,463 円ですが、2021 年度には、工賃と経費が含まれていないため、差額の算出ができない。

② 工賃実績報告

	2022 年度工 賃	2021 年度工 賃
合計	¥2,382,371	¥2,367,926

(2021・2022 年度工賃の中に、3 月決算ボーナス含む)

※新スタッフは9月から1名、1月から1名で、登録者が21名になった。

(2) 班別作業の報告

① 木工 (注文内容)

◇個人注文がいくつかあった。犬用食器、譜面台(6個)、てまりケース、鏡台の椅子

○個人等からの注文製作の内容は上記の通り。

○手話フェスティバルやポンポコまつりなどのイベント販売が少しずつできるようになり、販売が増えている。これから人気商品や新商品の試作などを検討していく必要がある。

木工の技術を持っているスタッフが高齢ということもあり技術の継承が困難な面があり今後どのように続けていくかが課題となる。

	2022 年度	2021 年度	前年度比
--	---------	---------	------

合計	¥132,908	¥101,553	約 130%
----	----------	----------	--------

②縫製

◎マルチスイッチ（注文内容）

子ども用黒色ポンチョ&スカート風ひざ掛け(セットアップ)	1着
サルエルパンツ(もんぺ風)	1着
サルエルパンツ	11着
ワンピース	6着
制服風ポンチョ&ワンピース&ブラウス&付け襟	各1着
チェック柄サルエルパンツ&ポンチョ(セットアップ)	各1着
その他	各3点
	合計 123,909 円

・マルスイッチと一緒にトークイベントに参加する。

『オトナ女子企画』第3弾(於:地域コミュニティ「森のおうち」)には縫製班からはスタッフ3名が参加。

『オトナ女子企画』第4弾(於:彦根ビバシティ)には縫製班からはスタッフ1名が参加。

◎個人注文

・半ケツにならないズボンの会 合計 75,311 円

・滋賀県デフバレークラブ 合計 87,500 円

◎その他(サコッシュ、巾着、ゆび編みバッグなど) 合計 55,087 円

◎内職(車シート) 合計 62,500 円

◎リフォーム 合計 22,150 円

◎縫製品(布マスクなど) 合計 28,600 円

2022 年度 縫製班合計 455,057 円－材料費 99,175 円＝355,882 円

	2022 年度	2021 年度	前年度比
売上合計	¥335,882	¥417,250	80.4%

2021 年度は材料費があまりかかっておらず、売り上げを伸ばせましたが、2022 年度は材料費がかかる製品が多く、ミシンの修理などにも費用がかかりました。来年度は、材料費をいかに抑えられるか、購入先についても検討していきます。

③もぐさ

2022 年度収益は 147,166 円。円形もぐさは、4 月時点で受け入れを終了。棒もぐさも同じく 12 月時点で受け入れを終了。主の作業としては、新伊吹筒にもぐさを詰める作業である。榊、小椀、銀板もコンスタンスに仕事をいただいた。

③ リサイクル

売り上げが約 2 倍に伸びた。2021 年度 477,475 円だったが、2022 年度は 907,302 円であった。その主な要因は、協力してもらえる自治体が、年度当初から 9 カ所であったのと、山東グリーンパークにグランピング施設が開設されたことがおおい。アルミ缶の買取単価は、20 年度には 215 円にまで高騰したが、昨年度途中から 173 円に値下がりし、その後 173 円で落ち着いている。

	2022 年度	2021 年度	前年度比
合計	¥907,302	¥477,475	190.0%

⑤農業

外注はなくなり、施設内での畑での野菜作りのみとなった。21 年度は当初より、栽培計画を立て、いろんな野菜の栽培を行い、26,175 円の収益だったが、22 年度は 7,383 円の収益にとどまった。指導者・人員・販路等の課題もあるが体制を立て直し、農業班の作業を充実させる必要がある。

	2022 年度	2021 年度	前年度比
合計	¥7,383	¥26,175	28.0%

⑥ 生パスタ製造

製麺時は、作業効率をあげる為とミスを防ぐ為3人体制で行い、粉などの材料を計量する時は、間違いが起こらないように二人の目で確認しながら進めた。また衛生面には細心の注意をはらいながら作業を進めた。

毎月1回パスタミーティングを開き製麺担当で情報の共有を行ったり、メイン事業として今後の展開、方向性などを相談した。

(プレーン生パスタ麺)

注文先:愛らんど(毎月1回)、ひだまり(毎月1回)、米原市役所(毎月第3週)、ふるさと納税、個人注文

滋賀県立聴覚障害者センター・びわこみみの里 (随時)

(よもぎ生パスタ麺製麺回数)

シェフズバイローザンベリー多和田 4月2回・5月4回・7月3回・8月3回

(プレーン生パスタ麺製麺回数):

4月3回 5月2回 6月4回 7月2回、8月2回 9月3回 10月4回 11月4回 12月3回 1月4回
2月4回 3月1回

年度	2022 年度	2021 年度	前年度比
売上合計	¥836,708	¥877,160	95.3%

⑦受注作業

ゴムパッキン、しつけ糸の商品化、釣り具の商品化、ネジの袋詰め作業など縫製ミシン内職

○昨年度に比べ収入が微増。作業意欲が要因は作業習熟度が上がり、作業速度が上がったことと思われる。課題としては作業能力に見合う収益になっていない事。時給単価が高い作業を探していく必要がある。

	2022 年度	2021 年度	前年度比
合計	¥788,705	¥733,487	107%

3. 出店販売実施状況

- ・米原市役所：毎月1回水曜日10回
- ・ぼんぼこまつり(6/11)
- ・滋賀県ろうあ者大会(6/26)
- ・ほおずき作業所バーゲンセール(8/9)
- ・法人後援会上映会(2/12)
- ・法人社会的自立を考えるセミナー(2/19)

4. お楽しみ企画実施状況

- ・4月→27日(水)「体力測定」
- ・6月→22日(水)「誕生会」
- ・9月→28日(水)「誕生会」
- ・10月→26日(水)「プチ運動会」
- ・12月→21日(水)誕生会&クリスマス会
- ・1月 →中止
- ・3月 →誕生会

※恒例の誕生会に職員が当番を決め、内容を準備して当日の進行でスタッフとコミュニケーションが
取れて楽しいお楽しみ企画になった。

5. 湖北みみの里教室実施状況

- ・7月 →20日(水)「季節の健康豆知識」
- ・9月 →21日(水)「防災を学ぶ」法人と共催
- ・11月→中止
- ・1月 →中止
- ・3月 →ポッチャ

※11月と1月は警報(大雨、大雪)のため、中止で残念でした。参加人数は10人～15人で、呼びか
けに工夫が必要です。

[健康相談]

- ・湖北みみの里いきいき教室の併設コーナー「健康相談」→実施無し
- ・1年に1回の歯科健診の実施。

健診日：11月24日 受診人数：7人(希望者のみ) 受診料：1事業所5千円

歯科医師会、滋賀県歯科衛生士会、滋賀県の3者が協力して行う事業として、障害者通所事業
所において歯科健診歯科保健指導事業を実施されている。それを利用。

・健診をきっかけに、自身の口の健康状態を知り、必要な場合は歯科医院の受診をしてもらっている。

6. 会議・研修等

(1)職員会議&作業・生活会議 毎月1回実施/必要に応じて都度実施

(2)外部会議

①長浜米原しょうがい者自立支援協議会

・事務局会議/毎月第一水曜日開催、運営委員会/2ヶ月1回開催、権利擁護部会/2ヶ月1回開催

・全体会議→年に2回開催

②湖北地域しょうがい者支援事業所協議会 開催あるものの欠席

③米原市手話施策推進会議

・第1回-7月4日(月) 於:米原市役所本庁

・第2回-10月26日(木) 於:米原市役所本庁

・第3回-2月15日(水) 於:米原市役所本庁

④米原市障がい者計画等審議会

・第1回-1月20日 於:米原市役所本庁

⑤米原市地域福祉計画推進会議

・第1回-10月21日(金) 於:米原市役所本庁

・第2回-3月8日(水) 於:米原市役所本庁

⑥長浜市児童発達支援センター及び長浜市こども療育センター療育検討委員会

・12月16日(金) 欠席

⑦滋賀県社会福祉審議会ユニバーサルデザイン推進検討委員会第2専門分科会

・第4回→1月26日(木) 於:滋賀県危機管理センター 第1専門分科会合同委員会

・第5回→3月16日(木) 於:滋賀県危機管理センター

⑧(仮称)長浜市手話言語条例を検討する懇談会

・第3回-6月17日(金) 於:長浜市役所

・第4回-8月19日(金) 於:長浜市役所

・第5回-12月26日(月) 於:長浜市役所

*3月22日(水)、長浜市議会で採決

手話で共に暮らす長浜市手話言語条例→4月1日施行。全国で488番目、滋賀県で6番目施行。

(3)職員研修

・湖北圏域しょうがい福祉サービス事業所等従事者向け連続基礎講座 全7回中、6回出席(山口)

7. 施設見学・取材等

【施設見学・取材】

- 7月 ー山東民生委員児童委員協議会
- 10月 ー令和4年度米原市手話講座実地学習
- 11月 ー近江八幡市聴覚障害者福祉協会
- 12月 ー野洲市手話講座受講生
- 2月 ー半ケツにならないズボンの会 & (株)ボンフリー & 滋賀大学教授 & 彦根市社協

【会場使用状況】

- 4月 ー米原市聴覚障害者協会定期総会
 - 5月 ー米原市聴覚障害者協会たまり場
滋賀県意思疎通支援者研修・2022年度事業説明、手話関係団体の出前講座の資料確認
 - 6月 ー第7回滋賀県ろうあ者大会実行委員会
 - 7月 ーきょうされん滋賀支部湖北ブロック会議、湖北委員会・チヂミ材料の事前準備
 - 9月 ーきょうされん滋賀支部湖北ブロック会議 滋賀県手話通訳問題研究会・N-action 班 学習会
 - 11月 ー滋賀県ろうあ協会理事会・拡大理事会 きょうされん滋賀支部湖北ブロック会議
 - 12月 ー滋賀県手話通訳問題研究会湖北班会議
 - 1月 ーきょうされん滋賀支部湖北ブロック会議
 - 3月 ーきょうされん滋賀支部湖北ブロック会議
- * 坂田小学校の学校行事、坂田スポーツ少年団等に駐車場提供(随時)

8. 施設設備・備品等整備状況

新規購入→パソコン1台、タブレット1台

5. 聴導犬訓練事業 事業報告

聴導犬訓練事業は、2015年度に正式にスタートし、9年が過ぎました。

最大の目標であった、当事者団体が育成する“第1号の聴導犬の輩出“を2018年2月に実現し、2022年度からは、二人の方からの希望に基づき、ダイロン福祉財団からの援助も受けて2頭の候補犬の育成訓練を始めました。

23年度は、その2頭の育成訓練に集中しました。年度内に認定試験を受け、少なくとも1頭は合格させたいと兵庫県立リハビリテーションセンターとも累次の折衝を行いました。残念ながら、認定試験を受けることがかなわず、24年度事業として引きついだところ。です。

また、新たな希望者であるTさんの聴導犬については、愛媛の事業者が育成した「エマ」(メス)を紹介してもらい、Tさんにつないで、24年3月10日に合格、晴れて滋賀県内4頭目の聴導犬としてデビューすることができました。

訓練育成とともに注力してきたのは、聴導犬に関する啓発活動です。コロナが表面的に収束状態になったのを受けて、びわこみみの里への見学者が増え(メディアの影響や口コミの効果、旅行社の認識の広がりもあってびわこみみの里は地域の民生児童委員の方の人気の研修先となっています)、聴導犬のことを初めて知った、犬のけなげな働きぶりを見て感動したなどという声が多く寄せられる状況を作り出しています。

また、側面的に応援してきた絵本作りが、23年度内に急速に進み、24年度4月に発刊の運びとなりました。